

卒業論文題目

京都帝國大學文學部哲學科

昭和十三年一月提出

哲學專攻

ヱイコの「永遠の理想的歴史」

姉崎 正臣

認識の實在 (附說意識及び自我に就て)

岡 不二太郎

超越に就て — ハイデッガー小察 —

柏村 正知

精神の現象論的構造 — カント哲學の現象論的解明 —

小島 利治

シェリングの自由論

佐野 東徳

プラトン哲學に於ける「混合」に就て

出井 高晏

ドイツ市民社會成立過程期の歴史哲學に於ける「民族」

永島 孝雄

の觀念に就て — 特にヘルデルを中心とせる —

西村 嘉彦

意識・身體・生命 — ベルグソン哲學管見 —

村上 尙治

行爲・存在・論理

安宅 重雄

西洋哲學史專攻

池 誠恭

社會と國家に關する一試論

坂口 正司

プラトンの存在論

愛と教育

ベルグソンに於ける實在

教育學教授法

印度哲學史專攻

社會的教育學(ナトルプ)に就て

田中 光次

不動明王の研究

糟谷 義傳

商潮羅所作に關する研究

鎌數 周行

支那哲學史專攻

内藤 夏五

劉 歆 批判

吉田 行範

毛詩正義の研究

心理學專攻

神祕經驗に就て

岡田 教章

再認法による知覺の研究

加納 久道

青年期に於ける身心の狀態略述

田中 明親

盲點に於ける知覺

津田 至

The Vectorial Analysis

南條 正明

就學前期兒童の描畫に就て — 主として人物畫に就て —

八木 信一郎

聽き手に與ふる音樂の效果に就て

山松 質文

— 特にレコード音樂に就て —

倫理學專攻

茶 道

加藤 亮璋

國家に就て — カント及びヘーゲルの國家觀 —

野澤 正夫

定言的命法に就て

山内 重幸

愛と教育

芥川 武

社會的教育學(ナトルプ)に就て

田中 光次

カントの「Über Pädagogik」に就て
美學美術史專攻

西田 狷之介
鴉谷 嘉兵衛

藝術と現實

奥 畑 稔

藝術批評に就て

河 北 倫 明

映畫の構成の基礎

多 田 英 憲

日本洋畫史考

田 邊 彦 太 郎

魅力について

寺 田 昌 業

宗教學專攻

森岡外の小説について

馬 場 亮 一

パウロに於ける終末の問題

糸 賀 一 雄

信仰と神祕主義——ブルンナー神學に於ける一の課題——

幡 掛 正 浩

社會學專攻

エフ・シュタウデンガーに於ける社會の基本的關係

小 林 榮 治

——特に共同社會に就て

土 屋 貞 藏

地域圏の擴大と個性の形成に就て

土 肥 等

心的相互作用の基礎問題

中 野 六 郎

中世ドイツ都市の社會學的一考察——中世都市の構造とその共同社會的特質——

藤 田 二 郎

國家の發生に就て——族制國家より身分國家への變遷に就いて——

安 藤 了 秀

佛教學專攻

解 深 密 經

雜阿含經に於ける禪的思想
世親の佛性論
瑜伽行派に於ける淨土教の問題

彙 報

倫理學讀書會

昭和十二年十二月十日(金)

Walther Eckstein: Das antike Naturrecht
in sozialphilosophischer Beleuchtung.

永 井 一 君

寄 贈 圖 書

九州帝國大學法文學部十周年記念

東京 岩 波 書 店

哲學史學文學論文集

定價 五圓八拾錢

同志社大學文學部哲學會編

京都 弘 文 堂

哲學年報第一輯

定價 壹圓八拾錢

寄 贈 雜 誌

昭和十二年十二月號 露西亞月報(四七號)

昭和十三年一月號 哲學雜誌、思想、理想、法學論叢、經濟

論叢、史林、學校教育、信濃教育、社會學徒、立命館文學、女

性日本、願憲、湖畔の聲、文科、哲學改造、國民思想